



宝永小だより

No.8

福井市宝永小学校

令和7年7月9日

学校教育目標:ひとり立ちできる子 ~心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成~
めざす児童像:進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にする子

4年生 福祉に関する体験学習を重ねる 6月3日(火)・12日(木)・17日(火)・24日(火)

総合的な学習の時間に、子どもたちは、「福祉」についての学習を進めています。福井市社会福祉協議会や福井中央北包括支援センター等の皆様に来ていただいて、車いす体験、点字体験、高齢者擬似体験を実施し、認知症についても学びました。さらに、4つ目の体験として、「ガイドヘルプ」にも挑戦しました。

【車いす体験】子どもたちは、車いすの使い方を学んだ後、3~4人1組になり、介助する側とされる側を体験しました。体育館後方から出て児童玄関に向かい、その後、体育館トイレの手洗い場と多目的トイレの手洗い場とを比較して、使いやすさの違いを実感できました。さらに、体育館玄関で段差のある場所の介助の仕方を学びました。

【点字体験】子どもたちは、「福井県点訳むつみ会」福井支部の ○○○○ 様に来ていただいて、点字体験をしました。まず、子どもたちは、点字の歴史や仕組みについて学びました。点字は、6つの点の組み合わせで、かな・漢字・アルファベットやいろいろな記号なども表します。子どもたちは、点字のきまりを確認した上で、点字一覧表を見ながら、点字を読んでいきました。そして、点字器を使って、自分の名前を点筆で書くことに挑戦しました。子どもたちは、点字を読むことと点字器を使うことの大変さを体感していました。

【高齢者擬似体験】子どもたちは、腕や足におもりなどを装着し、老眼や白内障を体験できるゴーグルをかけて、体育館を歩きました。高齢者の身体的特性を実際に体験することで、高齢者への理解を深めることができました。

【認知症サポーター養成講座】子どもたちは、認知症になるとどうなるか、認知症の方にどのように接したらよいかなどを学びました。学校から帰って来て宿題をしていると、認知症の祖母から何度も日にちを聞かれる孫という設定で、どう対応したらよいかを考えました。また、紙芝居の ○○ こと ○○○○ 様が福井中央北包括支援センター職員として紙芝居「ぼく わすれてないよ」を口演してくださいました。子どもたちは認知症のおじいさんと孫のやり取りから認知症の方との望ましい接し方を理解しました。授業後、子どもたちは、受講証明として、キッズサポーターカードと、手作りの「ロバ隊長」(認知症サポーターキャラバンのマスコットキャラクター)のマスコットをいただきました。

＜ロバ隊長＞→



【ガイドヘルプ体験】 子どもたちは二人ペアになり、一人がアイマスクを付けて視覚障害のある人、もう一人がその人をガイドする立場となり、児童玄関をスタートして段差を上り、次に体育館トイレの手洗い場で水道の蛇口を回して水を出して、最後に体育館に置かれている椅子に座するという流れで体験をしました。ガイドの人の声や案内がどれだけ大切なのか、身をもって学ぶことができました。また、椅子に座るときに周りがどうヘルプすればよいのか、気をつけることは何かがわかりました。



＜点字を学ぶ子どもたち＞



＜高齢者を擬似体験する子ども＞



＜ガイドヘルプ体験の様子＞

＜点字体験について＞ 今日、点字体験をして、点字を読むのは、とにかくむずかしかったです。点字の本なんか、すぐぐぶあつてびっくりしました。ふつうの小説とかを点字の本にすると、点字の本を5さつくらいになるなんて、思いもしませんでした。でも点字がとくいな目の不自由な人は、すらすら読めるんだろうなと思いました。でも点字がなかったら目の不自由な人はたいへんなので、点字があつてよかったと思いました。点字を読むのもむずかしかったけど、点字を書くのもむずかしかったです。ふつうの点字とはんたいなので、よけいむずかしかったです。点字を教えてくださいました。ありがとうございます。

＜高齢者擬似体験・認知症サポーター養成講座について＞、今日、高れい者ぎじ体験をして、高れい者の人は目が見にくいのは知っていたけれど、思っていたより、見にくかったのでびっくりしました。体の重さも、けっこう重かったので、高れい者は、大変だと思いました。元気な高れい者の人は、すごいと思いました。高れい者の人を見かけたら、声をかけたり助けたりしていこうと思いました。にん知しようの人におこっていたことがあったのでこれからは、やさしくせっていこうと思いました。にん知しようの人と話す時は3つの「ない」と7つのポイントを思い出しながら話そうと思いました。

<ガイドヘルプ体験について> 今日、ガイドヘルプ体験をしていつもらく歩いている場所を通るのさえとてもむずかしかったです。けれど、〇〇さんが「今は洗面所の近くだよ」などとやさしく声かけをしてくれたのでうまくできました。自分がガイドヘルプをしてみて一回目はあまりうまくいかなかったけれど、2回目はうまくできたのでよかったです。これから、目の見えづらい人や目が見えない人を見かけたら手伝おうと思いました。このガイドヘルプ体験をこれからの生活にいかそうと思いました。今日いろいろなことを教えてくれてありがとうございました。

2年生 ドキドキ・ワクワク「まちたんけん」その2 6月11日(水)

生活科「まちたんけん



<西本願寺福井別院の様子>



<中消防署の様子>

に行こう」の学習の一環として、子どもたちは第2弾の校外学習に出かけました。第2弾は、西本願寺福井別院、中消防署へ出かけました。西本願寺福井別院では、本堂や梵鐘の説明をしていただきました。また、中消防署では、消防士の皆様の訓練を間近で見せていただいたり、消防車や救急車の内部の説明

6年生 素晴らしい歌声で堂々と発表 6月24日(火)・25日(水)

6月24日(火)に、保護者の皆様と家庭・地域・学校協議会委員の皆様に参加いただき、福井市連合音楽会の校内発表会を開催しました。

練習を積み重ねてきた合唱曲「しあわせになあれ」(作詞・作曲:弓削田健介)を全校児童の前で披露するのは初めてで、体育館には緊張感が漂っていましたが、いざ発表が始まると、6年生の子どもたちの呼びかけと歌声に圧倒されていきました。その素晴らしい歌声の後、激励も込めて、全校で、6月の歌「ゆかいに歩けば」を合唱しました。6年生の子どもたちのお手本に触れて、仲間と一緒に歌うことの素晴らしさを共感し、6年生に対する憧れの思いが高まりました。

6月25日(水)には、フェニックス・プラザエルピス大ホールで開催された「第64回福井市小学校連合音楽会」第4部(午後:10校)に参加しました。初めてのステージでの発表に関わらず、子どもたちの歌声は、完成度の高いものでした。お揃いのTシャツに身を包み、言葉が伝わるように丁寧に歌い上げる本校の子どもたちに、会場からは割れんばかりの拍手が送られました。客席に戻ってきた子どもたちは、やり切った満足そうな笑顔を浮かべていました。

今回、子どもたちは、「しあわせになあれ」という素敵な歌に出会いました。今後、大きな壁にぶつかった時、この歌を思い出し、自分の名前に込められた願いを実感することで、自らを奮い立たせ立ち向かってくれることと願っています。



<会場を魅了した子どもたちの歌声「しあわせになあれ」>

<6年児童から〇〇先生へ>

〇〇先生、約2ヶ月のご指導、ありがとうございました。先生のおかげで笑顔が増えたり口を大きくあけることができたり、とても上手になりました。本番は、〇〇先生の笑顔で緊張がほぐれて自分の限界を出すことができました。また、一回一回の練習がとてもたのしかったです。これからもお世話になる場面もあると思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

<6年児童の感想> 私が連合音楽会に向けて、練習の時にがんばったことは三つあります。一つ目は、音をはっきりと歌えるように音に注意したこと。二つ目は友達といっしょに作品を作るつもりで歌ったことです。小学校では、ラストの連合音楽会です。友達といっしょに歌うのも最後になります。より思い出になるように、がんばろうと思いました。三つ目は、練習中は、常にえがおで歌うことです。えがおで歌えば、気持ちが明るくなると思ったからです。次に本番で気をつけたことは、まず、口を大きくあけたことです。とにかく気持ちで歌おうと思いました。〇〇先生の方だけを見て、目をしっかりとあげました。音が下がらないように気をつけました。歌い終わった時、大きなはく手をもらいました。歌い終わったというじゅうじつ感がわいてきました。このメンバーで歌えて本当によかったなと思いました。指導してくださった〇〇先生にも感謝の気持ちでいっぱいです。

*教育委員会は、家庭・地域・学校が連携し、地域の特性や実情を生かしながら、地域に根ざした開かれた学校づくりを目指すために、全小中学校に「家庭・地域・学校協議会」を設置しています。本校では、〇〇〇〇 様(宝永公民館長)、〇〇〇〇 様(公民館運営審議委員長)、〇〇〇〇 様(宝永地区子ども会育成会長)、〇〇〇〇 様(認定こども園 聖三一幼稚園長)、〇〇〇〇 様(市主任児童委員)、〇〇〇〇 様(まつのき児童館長)、〇〇〇〇 様(PTA会長)に今年度の委員をお願いしています。6月24日(火)に、第1回家庭・地域・学校協議会を開催しました。

【報告事項】・令和7年度スクールプラン ・4月からの子どもの様子 ・地域と関わる一覧表 ・園小接続推進計画

【情報・意見交換】・連合音楽会の校内発表会 ・地域や関係機関と連携した教育活動における子どもたちの様子

*保護者の皆様には、お忙しいところ、教育懇談会にお越しいただき、ありがとうございました。担任から、学校で頑張っている様子をお聴きになり、お子様を褒めてあげていただけたでしょうか。今後も、保護者の皆様とコミュニケーションを図りながら、一緒にお子様の成長を支援していきたいと考えています。気がかりなことがございましたら、遠慮なく、ご相談ください。